

海外から来られた新たな仲間 (No.5)

「業界で活躍する女性の紹介」は、現在までに10人の方々をご紹介いたしました。新たに「海外から来られた新たな仲間」を開始しており、今回は5人目の紹介をします。まだまだ日本社会は多様性（延いては持続性）に関し寛容でない部分が散見されます。それを改善するための企画です。

Dahua Technology Japan 合同会社

代表取締役社長 Brian Li / 李斌さん 1987年生まれ 中国出身

＜日本に来るきっかけ＞

元々、日本の半導体や通信や電化製品に興味をもっており、2009年22歳のとき、ジェトロ（日本貿易振興機構）の留学生制度を利用し、北海道大学情報通信学部にて修士課程を専攻しました。

卒業後、NECに入社し、同胞（中国）、タイ、ベトナム、韓国、欧米などの方々もいて、学びの多い時間を過ごしました。その後、帰国し2015年よりDahua本社でグローバルアカウントの戦略部門で働き始め2020年にDahua Technology Japan 合同会社の社長として、2度目となる日本での仕事を開始しました。

＜日本に来てよかったこと・残念なこと＞

北海道大学時代は雪に感動し、ウィンタースポーツを経験しました。日本のアニメやドラマなども楽しんでします。特に「相棒」は全作を見ています。残念なことではありませんが、日本の正月は中国企業とやり取りが多く、旧正月は日本国内の企業はお休みではないので、工夫しながら休暇を取っています。（苦笑）

＜仕事を通して学んだこと＞

＜仕事を通して学んだこと＞

ハードとソフト、異業種間パートナー、異なる部門間がある目標に向かって、一つに統合できれば大きな価値が生まれます。それはとても大変なことです。優先順位を付け、難しくてもやるべきことに集中できれば、全体としても改善のスピードが速くなります。それがリーダーの役割だと思います。場合にもよりますが、先に譲歩し相手を立てることで、信頼を得られることもあります。

＜仕事上の苦勞＞

法令順守には特に気を遣っています。個人情報保護と利活用ではJEASよりアドバイスをもらっていますし、EASの医療機器との干渉試験はJEASに依頼し、母校でもある北海道大学大学院情報科学研究で試験を受けているところです。ルールをしっかり守ることは、ユーザーのためでもあり、良い市場を形成することにもつながります。

＜私の夢＞

経済交流を通じて日中の架け橋になりたいです。防犯はもちろんのこと、店舗や工場の省人化に向けたAIカメラ等の利用、それらがテーマの国際的な会議への参加、さらには災害時の相互協力などで、両国が仲良しの隣人になって欲しいと切に願っています。

＜これから日本で仕事をする海外の方々へのアドバイス＞

ことわざにある「郷に入っては郷に従え」ということだと思います。違う価値観を学ぶことは、自分の成長につながります。例として、休みの日でも、できるだけいろんなところに出かけ、その土地の風土や人情に触れることをお勧めします。その土地の郷土料理やお茶やお酒などを味わってみるのも楽しいものです。気づくと自分から楽しくコミュニケーションする人になっていると思います。それは素晴らしいスキルです。（笑）

＜JEASへの期待＞

現行の「セルフレジ不正対策」や「交通機関と関連店舗の保安強化」や「店舗のDX化」や「データガバナンス」などのプロジェクトのように、市場のニーズが高いテーマについて、関係企業が集まって新たなソリューションを話し合う場をどんどん創ってもらいたいです。同時にそれをユーザーに知ってもらう場面があると有難いです。ぜひ、お願いします。



「海外から来られた新たな仲間」

万引防止システムの業界には、海外から来日された方々、帰化された方々がいらっしゃいます。互いの相互理解を深めることで、温かな人間関係作り、生産性向上、その先にある社会の持続的再生産に貢献したいと思います。万引対策等の防犯活動の現場または支援活動の中で活躍されている海外から来られた新たな仲間を紹介いただきたく、お願い致します。

工業会 日本万引防止システム協会 総務委員会